



# 障害者の労働・生活をめぐる課題 —精神障害者、発達障害者を中心に—

保健福祉学部 人間福祉学科

准教授 江本 純子（えもと じゅんこ）

博士（社会学）・精神保健福祉士・社会福祉士

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 2516号室

Tel 0848-60-1120（代）

E-mail emoto (at) pu-hiroshima.ac.jp

\*メールアドレスの（at）は、@に書き直してください。

専門分野： 社会福祉学 社会福祉政策 障害者福祉  
ソーシャルワーク  
キーワード： 障害者政策 精神保健福祉 障害者雇用  
共生社会 精神障害 発達障害 就労支援  
精神保健福祉 メンタルヘルス 芸術療法  
ディーセントワーク インクルージョン  
プレイバックシアター（即興劇）

## ● 現在の研究について

ひとは誰しも、自らの望む地域で、あたりまえの暮らしをする権利を持っています。ところが、現実には、ごくふつうの生活をするにさえ制限を受ける場合もあります。特に精神障害や発達障害を抱えつつ一般の事業所で働こうとすると、障壁が少なくありません。

こうした観点から、障害者の労働を切り口に、現代社会で生じている様々な問題の所在と背景、政策から具体的な援助方法の課題までを包括的に研究しています。そして、この研究によって、すべての人が尊厳をもって生き生きと暮らせる社会の実現を目指しています。

具体的には、以下を中心に研究しています。

- ① さまざまな障害をお持ちの方が一般の労働市場で働くための政策と具体的な支援の方法。
- ② 精神保健・福祉に関するニーズをお持ちの方（精神障害、発達障害、社会的ひきこもりの状況にある方等）が地域で安心して暮らすための社会のしくみと具体的な支援の方法。
- ③ プレイバックシアター（即興劇）等芸術を活用した支援の方法。

## ● 今後進めていきたい研究について

- ① すべての人が安心して働くことができるような労働のしくみ（政策から支援方法まで）。
- ② 精神保健・福祉に関するニーズをお持ちの方が生活しやすい社会のしくみと支援方法。
- ③ プレイバックシアター（即興劇）等芸術を活用した支援の実践方法。
- ④ 社会福祉、精神保健福祉にかかわる様々なことの哲学的考察及び哲学対話。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

- ① 障害を抱えつつ働いておられる方及び家族、雇用主の方のための様々な支援やしきみ作り。
- ② 不登校またはひきこもりの方及び家族とそのグループのための支援やしきみ作り。
- ③ 精神保健・福祉に関するニーズをお持ちの方に対応できる地域精神保健システムづくり。
- ④ 「暮らし」や「メンタルヘルス」等に関する様々なことを自由に表現したり、論じる集まり（プレイバックシアター、精神保健福祉カフェ）。

## ● これまでの連携実績

- 行政機関、各種団体、企業等と連携して、以下のような活動を行いました。今後も継続します。
- ① 精神障害・発達障害を持つ当事者または家族のグループを対象とした就労支援や生活支援。
  - ② 障害者就労支援や政策に関する講座・研修講師。
  - ③ 経済的困難を抱える世帯のこどもの学習・環境に関わる総合的支援。
  - ③ プレイバックシアター（即興劇）等芸術を活用した地域福祉支援。